

令和6年5月14日

第1回秦野高等学校学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和6年5月14日
- 2 場所 秦野高等学校 会議室
- 3 出席者 委員5名 学校職員11名
- 4 内容

○協議

(1) 学校設置部会および令和6年度の活動計画について

- ・昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度も学校評価部会と地域連携部会の2部会で進めていく。

◎学校設置部会および令和6年度の活動計画に関して承認

(2) 令和6年度 活動計画・学校評価報告書（目標設定）について

視点1 教育課程・学習指導

- ・個々の学力を向上させるとともに、STEAM教育の実践を通じて探究的で創造的な学びを推進する。
- ・本年度はSTEAM教育研究推進校としてのまとめの年となる。各学年で総合的な探究の時間を中心にSTEAM教育を踏まえた「秦校探究メソッド」を確立させる。
- ・体育祭・文化祭は、各実行委員会を中心として組織的に運営することができた。今年度はより早い段階で準備を進めることで、生徒が主体的に行動できる環境づくりを進めていきたい。

視点2 生徒指導・支援

- ・特別活動や部活動を通して、生徒の主体的な態度を育成するための環境づくりを重視したい。
- ・部活動勧誘、部活動紹介、中学生向けの部活動公開を通して、部活動の充実を図っていきたい。
- ・より多くの先生が生徒たちと関わる環境をつくることで、保健室・カウンセラーに行く前の段階で、生徒が先生に相談しやすいようにしたい。

視点3 進路指導・支援

- ・世の中の動向を見定め、どのような人物が求められているのかを伝えながら、進路実現を働きかけている。大学が開講しているセミナーに積極的に参加させ、より明確な進路選択を促したい。
- ・今年度はClassiの活用を全学年できるようになったので、学習面で有効活用していく。Compassを利用することで、生徒自身が受けた模試の結果を、3者面談などに活用していく。
- ・コロナ禍明けで久しぶりに、2024年8月1日から9日にかけての本校生徒の姉妹校訪問の準備を進めている。また、2025年1月14日から17日に姉妹校生徒の本校への受け入れを予定している。

視点4 地域等との協働

- ・地域ボランティアや地域のイベントへの参加を継続し、地域への帰属意識を育みたい。
- ・夏休みに1週間、中学生が参加しやすいように部活動体験・公開を行う予定である。
- ・中学生がよく見ている Instagram など、ICT を利活用して情報公開を進め、秦野高校生の姿を中学生や地域の方々に積極的に公開していきたい。

視点5 学校管理・学校運営

- ・防災訓練では、実践的な防災訓練について検討していきたい。
- ・施設・設備の修繕については、事務と協力して進めていきたい。
- ・会計処理におけるネットバンキングの導入などで、職務の合理化を図り、事故防止に繋げたい。

<委員より>

- ・姉妹校交流に参加する場合はどの程度費用がかかるのか。
→航空券代二十数万円と保険代・パスポート費用・現地でのお小遣いがかかる。
- ・長欠者たちが秦野高校のリズムに乗れるような指導をお願いしたい。
- ・自転車のヘルメット購入について、秦野市では2000円の助成を行っているので、声掛けをしていただきたい。自分の身を守るためにもヘルメット着用を推進して欲しい。
→市役所の方が来て、助成金についてお話をさせていただく予定である。
- ・近年、地方への進学が増えている。地方国公立大へ進学指導をしているのか。
→共通テストが終わり次第、担任との話し合いを重ねている。Compass 等を活用することで、地方国公立大に関する入試情報を得られることも影響を与えている。

◎学校評価報告書（目標設定）について承認

5 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会10月予定。